

議 事 録

会議等名称	平成29年度 第3回（新）伊那市子ども・子育て審議会
日 時	平成30年2月9日（金） 午後6：30～7：40
場 所	市役所 庁議室
議 題	保育料等の見直しについて（諮問） 保護者アンケート結果について 他
議 事 内 容	
<p>1 開 会 （18:30）</p> <p>2 あいさつ （18:31）</p> <p>市長</p> <p>全国的に未満児の保育希望が増加しており、そのための施設整備や保育士確保といった保育の受け皿の拡大対策が国で進められているが、一方では子育て世代の負担の軽減も考慮していかなければならない。国の幼児教育・保育の無償化も数年のうちにされる予定であるが、伊那市では、子どもを産み育てやすい環境を整備していくために、“子育てにやさしいまち”として、子育て世帯の負担をなるべく減らせるよう、事前に取り組んでいきたい。</p> <p>次年度から適用する保育料の改定について、諮問をさせていただく。他の市町村の状況を考慮しながら、それぞれの全階層において、現行を下回る設定としてある。これは、県下19市や上伊那郡内において最低レベルの金額。</p> <p>伊那市は子育て世代にぴったりの田舎として全国で認識されており、そのことが子育て世帯に実感できるよう今後も子育て施策を充実させていきたい。課題も多いが、審議会設置の趣旨を理解いただき、それぞれの立場で建設的なご意見をお願いしたい。</p> <p>倉田会長</p> <p>先日、年少園児を見る機会があり、すぐ対応する子、他の動きを見て対応する子、全く動かない子と、3パターンの子どもがいた。保育士の対応を見ていると、それぞれの子どもに応じた適格な対応がされており感心した。</p> <p>子どもを取り巻く社会環境は変化しているが、子どものまわりの身近な環境は大事にしているといけなと思う。</p> <p>今日は諮問があるので、よろしくご審議いただきたい。</p> <p>3 諮 問 （18:40）</p> <p>保育料等について</p> <p>諮問書読み上げ （市長）</p> <p style="padding-left: 40px;">＝ 読み上げ後、市長退席 ＝</p> <p>料金表（案）に基づき説明 （事務局）</p> <p>会長進行により質疑</p> <p><委員> 南箕輪と比べてどのようになっているか。</p> <p><事務局> 県下18市や上伊那郡内の状況も見らる中で、南箕輪村についても考慮している。自治体によって階層が違ふので比較は難しいが、伊那市の階層の場合でどうかという比較をしている。</p> <p><委員> 未満児について、以前比べたら差があったがどうなっているか。</p>	

- <事務局> 幼児同様、南箕輪と同額か安くなっている。
- <委員> 料金が安くなることにより今後利用者数が増えることも予想されるが、その対策としての保育士の補充はどうか。
- <事務局> 今後の動向はわからないが、保育士確保については現在も1年を通して行っており、さらに力を入れて取り組んでいきたい。
- <委員> 従来に比べどの位の持ち出しになり、財源はどうか。
- <事務局> 約4,500万円位を伊那市が負担することになり、ふるさと応援基金を活用していく。

内容について答申してもよいか確認（挙手）をとる。

【出席委員全員の挙手あり】

答申書の作成を行う旨伝え、事務局で事務室にて答申書（案）作成

4 協議事項（19:00）

(1) 保育園保護者アンケート結果について

別添アンケート集計結果により説明（事務局）

- <委員> 問7において、延長保育の料金の見直しとあるが今回反映されているのか。今後審議されていくのか。
- <事務局> 全園11時間開園をこの4月から実施する予定であり、平成31年度からは、保育標準時間を適用していく予定。それに向けて矛盾の生じないに延長保育料について見直しを行っていききたい。早い段階で審議審議いただく予定。
- <委員> ホームページ等で公開していく予定はあるか。その他意見としてある保育士のアンケートはどのように考えているか。
- <事務局> このまま掲載するか決定していないが、掲載はしていきたい。保育士アンケートについては、今回の内容を全職員で共有し実践していく中で保護者の対応を見ながら考えていきたい。現時点では実施予定はない。
- <委員> 保護者連合会の負担が大きいという意見があり、仕事をしていたり、家との両立もあり大変という話も聞く。何か考えがあるか。
- <事務局> 市の直轄団体ではないが、今回の意見やアンケート内容を共有し、関係保育士に伝えていきたい。

(2) 子どもを取り巻く環境について（19:20）

・子どもカフェについての説明

別添資料について説明（事務局）

- <委員> ひとり親家庭について無料塾というものがあり元学校の先生がやっている。希望の高校に入れた等喜ばれている。市内では、700世帯を超えているが、十分な資金がないために塾に行けない、希望の学校へ行けない等の声が聞かれる。この事業を続け、更に拡大して行ってほしい。また、母子父子に限らずとも困窮家庭はあるので、そのような家庭でも参加できるように支援が広がっていくように取り組んでほしい。
- <事務局> 生活困窮者対策としても課題として考えている。ひとり親世帯の学習支援や社協のやっているふれあい食堂などを含めて総合的に連携できるようにしていきたい。
- <委員> 子どもだけでも行けるのか。親が送らないと行けないのか。
- <事務局> はぐくみ食堂（ハミング）は不明だが、ふれあい食堂については社協で送迎を行っている。ひとり親学習支援は送り迎えが基本と聞いている。
学校の協力をいただかないとできない。学校時間外になるので送迎には気を使っ

ており、地区民生委員等に協力してもらったりして子どもだけというのは学校としては避けたいとのこと。社協も現在試行で行っているところだが、改善の余地もあり、良い方向でいければと聞いている。

(3)その他 (19:30)

・事務局より

答申案について説明（読み上げ）後、内容の確認を行う。 → 承認

答申日等の確認

2月14日（水）10:00～ 正副会長が代表する → 確認

・その他

<委員> 乳児医療費無料化について準備はどのようにしていくのか。医師会としては検討していないが。

<事務局> 県では、県医師会に説明して了解を得ているということだが、具体的なものがなく各医師会には説明できていない。市町村で統一がとれておらず、医療機関の事務の煩雑が予想されるので危惧しているが、資料が整っていない。

<委員> 乳児医療の範囲を決めるのは各自治体。それに応じて医療費総額の負担が増える。それに伴うペナルティも。

<事務局> ペナルティは県が半額出すと統一されたが、それ以外は各市町村負担になるので、早く医師会に説明に行けるよう、県に資料提出をお願いしている。

<委員> できるだけ早くお願いしたい。

<委員> 病児保育について、認可外の「はらぺこ」や在園児以外の無償化はどのように考えているか。

<事務局> 病児保育は保育の一貫として捉えており、今の考えの中で取り組んでいきたい。県下の動きがあれば検討していきたい。

<委員> 「はらぺこ」は保育ではないと考えているのか。

<事務局> 認可を前提として考えており、幅を広げることについては、他の自治体の動きを見ながら検討していきたい。

国の幼児教育無償化について認可外の扱いの話もある中で動向を見る中で検討していきたい。

5 その他 (19:35)

・病児病後児保育について

本日より市内施設で開始されたが、既に委託してる状況においては、

本年度4～12月 生協病院 121件 まえやま医院58件 登録は199名

・次回については内部調整を行い、早い段階で開催したい。

6 閉 会 (19:40)